

第66回 全名古屋木材産業 野球大会

熱戦の末、ヤマガタヤチームが 連覇！5度目の優勝！！

名古屋木材健康保険組合・名古屋木材組合・名古屋港木材産業協同組合共催、木材工業新聞社後援の
第66回全名古屋木材産業野球大会が開催されました。



5月15日(日)、木場南C球場において、エンヤチーム対東海プレキャッツチームの3位決定戦と、ヤマガタヤチーム対ジツダヤチームによる優勝決定戦が行われ、熱戦を繰り広げました。ヤマガタヤチームがジツダヤチームを破り、2年連続5度目の優勝を果たしました。

決勝戦終了後に表彰式が行われ、優勝したヤマガタヤチームを中心に、準優勝のジツダヤチーム、3位のエンヤチームが整列する中、尾之内裕三大会委員長が、「天候の影響で試合の日程に順延等がありましたが、大きなけがもなく無事終了することができました。熱戦の末優勝されましたヤマガタヤチームの選手のみならず、本当におめでとうございます。昨年に引き続き連覇を達成されました。惜しくも準優勝になりましたジツダヤチーム、来年はぜひとも優勝を目指していただきたいです。また、3位になりましたエンヤチームのみならず、ベスト4に残られました東海プレキャッツのみならず、来年こそは優勝を目指して頑張ってください。

大会を振り返ってみますと、選手のみならず日ごろ十分に練習され、チームワーク・気力ともに充実した熱戦が続きました。大会の趣旨である「健康増進」と「親睦」のためにも、仕事のかたわら

練習に励んでいただき、来年も多くのチームに参加していただきたいです」と挨拶しました。

続いて、大会後援の(株)木材工業新聞社・片桐さんが、「全試合観戦いたしました。昨年と比べ、各チーム少しずつ変わってきて若返りができていると思いました。準優勝のジツダヤチームは非常にチーム力が上がり、優勝のヤマガタヤチームは年々戦力をアップさせておられる。仕事と同様、地道に努力するところが勝ち残り、栄冠を手にするのだということをつくづく感じました。ヤマガタヤチームは通算5度目、2連覇は2回目ということで、来年は3連覇を目指して頑張りたいです。ジツダヤチームはおそらく優勝を狙いにきたかと思います。最後は好試合でした。来年も優勝を目指して大いに頑張りたいです」と挨拶しました。

けがもなく終わり、なによりでした。みなさま明日からは仕事に精を出し、家庭をしっかり守ってください」と挨拶。

優勝チームに優勝旗・優勝杯・賞状、準優勝チームには準優勝盾、3位チームには盾がそれぞれ手渡されました。最優秀選手賞に土井選手(ヤマガタヤ)、優秀選手賞には家田選手(ジツダヤ)が選ばれ、お二人にはトロフィーが手渡されました。

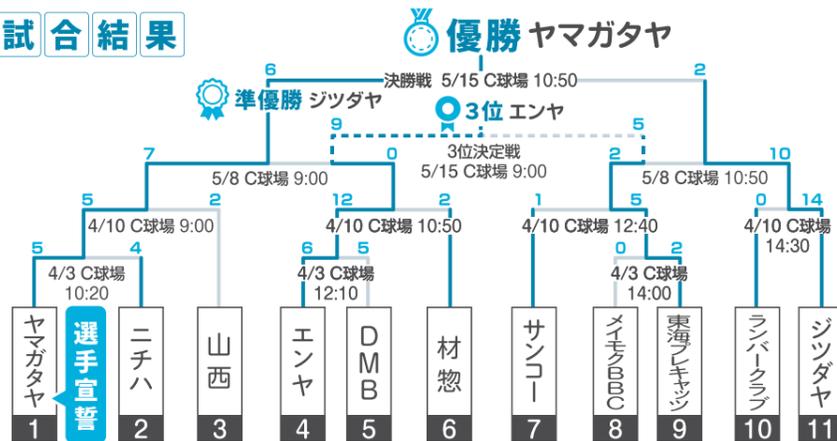
最後に、西村一彦審判長より「本日は天候に恵まれたなかで無事大会を終えることができ、大変めでたいことと思います。選手のみならず日ごろの鍛錬の成果を十二分に発揮して大会を盛り上げ、また大きな事故やけがもなく、健康増進と親睦が図られフェアプレーが続き、良い大会内容でした。また来年、みなさまのすばらしいプレーを見られることを期待しています。お疲れさまでした」との講評をいただき、表彰式が締めくくられました。

野球大会結果

- 優勝 ヤマガタヤ**
- 準優勝 ジツダヤ**
- 3位 エンヤ**

- 最優秀選手賞**
土井選手(ヤマガタヤ)
- 優秀選手賞** 家口選手(ジツダヤ)

試合結果



平成27年度 決算 ご報告

持ち直しの気配も、予断許さず ～健保財政健全化へご協力ください～

去る7月21日(木)、第142回組合会において、名古屋木材健康保険組合の
平成27年度決算が、原案どおり承認されましたのでお知らせします。

詳細は別掲のとおりです。収入総額(介護保険含む)32億9,122万8千円、支出総額(介護保険含む)29億7,165万2千円、差し引き3億1,957万6千円の決算残金となりました。

決算の内訳を前年度と対比しますと、収入の基である健康保険料については、対前年101.1%で金額にして2,975万円の増加となりました。

支出の大部分を占めているのが保険給付費と納付金です。保険給付費については前年より増加し、金額にして5,146万8千円増となり、保険料収入に占める割合は51.39%(前年度50.1%)となりました。保険給付費の被保険者1人当たり金額は257,282円(前年度251,445円)で、前年度と比べ5,837円の増加となりました。納付金については、金額にして11億1,389万7千円で前年度比1億1,039万3千円減となり、保険料収入に占める割合は39.82%(前年度44.24%)となりました。また、被保険者1人当たり金額は19万9,373円(前年度22万2,114円)で、

前年度と比べ2万2,741円減となりました。この結果、収入支出差し引き額および経常収支はプラス決算となりました。

平成27年度は26年度に引き続き木材業界が持ち直し、標準報酬月額が前年度より増加しました。28年度も保険料収入の伸びを期待したいと思います。健保財政を健全化するためには、みなさま一人ひとりが健康に留意され、当健保組合の標語である「自分で守ろう、自分の健康」を合言葉に、早期発見・早期治療を心がけていただくことが大切です。

当健保組合では、みなさま方の健康づくりのお役に立つよう各種の情報提供を行ってまいります。今後も、みなさま方の一層のご理解、ご協力をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。



健康保険(決算)のあらまし

科目	決算額(千円)
健康保険料	2,797,024
国庫負担金収入	1,299
調整保険料	35,688
繰入金	91,227
国庫補助金収入	448
特定健康診査等事業収入	0
前期高齢者交付金	0
財政調整事業交付金	29,881
雑収入	3,362
介護勘定受入	0
合計	2,958,929

科目	決算額(千円)
事務費	64,657
保険給付費	1,437,435
納付金	1,113,897
保健事業費	36,477
還付金	0
財政調整事業拠出金	35,586
連合会費	1,642
積立金	5,871
その他	1,333
介護勘定繰入	0
合計	2,696,898
収入支出差し引き額	262,031

基礎数値	
平均被保険者数(年間)	5,587人
男	4,527人
女	1,060人
平均標準報酬月額(年間)	350,373円
男	378,193円
女	229,483円
総標準賞与額(年間)	5,502,796千円
平均年齢	43.37歳
男	43.82歳
女	41.42歳
保険料率(調整保険料率含む)	98/1000
事業主	50.6/1000
被保険者	47.4/1000

介護保険(決算)のあらまし

科目	決算額(千円)
介護保険料	332,297
繰越金	0
繰入金	0
雑収入	2
一般勘定受入	0
合計	332,299

科目	決算額(千円)
介護納付金	274,754
還付金	0
積立金	0
一般勘定繰入	0
合計	274,754
収入支出差し引き額	57,545

基礎数値	
介護保険第2号被保険者数	3,137人
平均標準報酬月額(年間)	395,954円
総標準賞与額(年間)	3,571,264千円
介護保険料率	18/1000
事業主	9/1000
被保険者	9/1000

かかりつけ医・ かかりつけ薬局で ムダのない受診を



体の具合が悪いとき、どの科にかかったらいいのかわからない、大きな病院に行ったほうがいいのかなど、迷うことはありませんか？かかりつけ医がいれば、健康に関して相談をしやすく、比較的少ない待ち時間で診察を受けられ、必要があれば大病院への紹介状を書いてもらえるなど、いざというときに安心です。また、最近ではかかりつけの薬局を持つことも推奨されています。かかりつけ医・薬局ともに、さまざまなメリットがあります。ぜひ、信頼できる「かかりつけ」を見つけておきましょう。

かかりつけ医がいれば 安心＆医療費が安く

「なんとなく信頼できそうなイメージだから、大病院がいいな」と思う方がいるかもしれません。しかし、身近な診療所などがかかりつけ医にしておくほうが、さまざまなメリットがあるためおすすめです。

かかりつけ医の おすすめポイント

■親身になって、しっかりと診てくれる

大病院では、ただでさえ患者数が多いうえに初診の診察を後に回されがち。長時間待たされることになった挙げ句、診察時間は一瞬、のことも。ご近所のかかりつけ医なら、そうした大病院のデメリットを感じにくいでしょう。

■なじみの医師が診察してくれる

多数の医師が勤務する大病院では、毎回違う医師の診察を受けることになり、患者の体質などを考慮したアドバイスが受けにくくなります。少人数の診療所などであれば、一人ひとりに合わせた対応を期待できるでしょう。

■追加負担が不要だから安い

紹介状を持たずに、初診で500床以上の地域医療支援病院および特定機能病院を受診すると、初診料のほかに追加負担が求められます。

追加負担(全額自己負担)

最低5,000円(再診の場合、最低2,500円)

※200床以上500床未満の病院でも、特別料金(金額は病院により異なる)を求められることがあります。

身近な診療所であれば、追加負担は不要です。

かかりつけ医を選ぶときは ココを確認!

- ・家や職場の近くなど、通いやすいところにある
- ・患者の話をしっかりと聞いてくれて、生活指導なども丁寧にしてくれる
- ・大病院とパイプがあり、必要に応じて紹介状を書いてくれる

診療所は日常の病気や軽いけがなどを幅広く診療する役割をもち、大病院は高い専門性を備えて先端医療に取り組んだり、急を要する患者を救命したりする役割もっています。医療機関にはそれぞれの機能・役割があるため、状況に応じた適切な選択をすることが大切なのです。

かかりつけ薬局なら 安くなる

平成28年4月から、処方薬をもらうとき、「前回から6ヵ月以内」に「同じ薬局」に「お薬手帳を持参」と、「薬剤服用歴管理指導料」が安くなるというしくみが導入されました。かかりつけ薬局を決めておけば、ムダな出費をせずに済みますね。

薬剤服用歴管理指導料

・6ヵ月以内・同じ薬局・お薬手帳を持参

処方せん1回につき **380円** 120円安い!



薬剤服用歴管理指導料

左記以外の場合

処方せん1回につき **500円**

スマートフォンで見られる電子版のお薬手帳もあります。利用したい場合は、対応してくれるかどうかを薬局に尋ねてみてください。

重症化する前に…

特定保健指導 を受けよう!



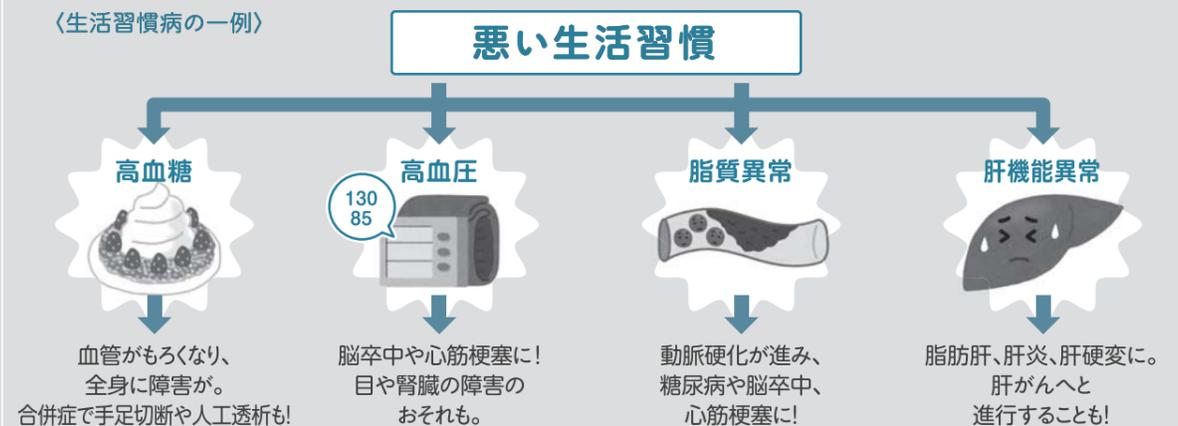
特定健診の結果、生活習慣病のリスクが高いと判断された方には、「特定保健指導」をご案内しています。特定保健指導とは、病気を未然に防ぐために、専門家のサポートを受けながら生活習慣を改善する取り組みです。

食事の偏りや運動不足などは健康上好ましくないとわかっていても、日々の習慣を独力で変えるのは難しいものです。特定保健指導の対象になったら、改善のチャンスだと思ってぜひ受けてください。

悪い生活習慣が、やがて命にかかわります

悪い生活習慣によって引き起こされた高血圧や脂質異常などを放置すると、命にかかわる病気を招きます。

〈生活習慣病の一例〉



生活習慣病は、病気が進行しないと自覚症状があらわれないことが多いため、気づいたときには手遅れになりがち。健康だと感じている今のうちから生活習慣を改め、病気の予防・改善に努めることが大切です。

病気を防げば 医療費の節約 にもなります

重症化するほど、体への負担だけでなく医療費の負担も大きくなります。

早めの対策で、お財布にもやさしい生活を心がけたいですね。

糖尿病の場合 1年間の医療費と自己負担(3割)
※金額は一般的な例であり、個々のケースにより異なります。



* ()内は自己負担のめやす(年齢等によって異なります)。*糖尿病性腎症が進行して人工透析が必要になり「特定疾病」の認定を受けると、自己負担は月1万円(上位所得者は2万円)で済みます。都道府県の助成が受けられる場合もあります。